

■ 一般演題 若手研究奨励賞 1 自然免疫・樹状細胞

Y1-1 腫瘍組織内のSTING刺激でCXCR2依存的に腫瘍内浸潤する好中球はI型IFNにより活性化され抗腫瘍免疫応答を作動させる

- 永田真莉乃¹⁾、大栗 敬幸¹⁾、小坂 朱¹⁾、矢島 優己^{1,2)}、原測 翔平^{1,3)}、林 隆介^{1,3)}、長門 利純¹⁾、及川 賢輔¹⁾、小林 博也¹⁾
¹⁾ 旭川医科大学 病理学講座 免疫病理分野、²⁾ 旭川医科大学 歯科口腔外科学講座、³⁾ 旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座
-

■ 一般演題 若手研究奨励賞 2 抗腫瘍エフェクター細胞

Y2-1 新規高親和性HLA class II ダイマーを用いた腫瘍抗原特異的CD4陽性T細胞の網羅的検出とT細胞受容体の単離

- 菅田 謙治、松永 幸子、村田 憲治、西條 浩、平野 直人
Princess Margaret Cancer Centre, Toronto, Canada

Y2-2 NF- κ Bシグナリングを介して腫瘍抗原直接認識能を向上する低分子化合物は腫瘍抗原特異的T細胞輸注療法の効果を増強する

- 道津 洋介^{1,2)}、村岡 大輔²⁾、園田 祐大³⁾、浅井 章良³⁾、迎 寛¹⁾、池田 裕明²⁾
¹⁾ 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科呼吸器内科(第二内科)、²⁾ 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科医療科学専攻 腫瘍医学、³⁾ 静岡県立大学大学院 薬学研究院 創薬探索センター

Y2-3 ネクロシス癌細胞が放出するオンコメタボライトによる、抗腫瘍T細胞免疫応答の制御メカニズムの解明

- 日比野沙奈、柳井 秀元
東京大学先端科学技術研究センター 炎症疾患制御分野
-

■ 一般演題 若手研究奨励賞 3 腫瘍抗原と抗原提示機構

Y3-1 スプライスペプチドに由来するCTLエピトープの同定

- 加藤 宏治^{1,2)}、中津川宗秀^{1,3)}、金関 貴幸¹⁾、時田 芹奈¹⁾、久保 輝文¹⁾、塚原 智英¹⁾、廣橋 良彦¹⁾、鳥越 俊彦¹⁾
¹⁾ 札幌医科大学医学部 病理学第一講座、²⁾ 札幌医科大学医学部 呼吸器・アレルギー内科学講座、³⁾ 東京医科大学八王子医療センター 病理診断部

■ 一般演題 若手研究奨励賞 4 免疫逃避機構・治療抵抗性

Y4-1 初発膠芽腫におけるMGMTと腫瘍微小環境との関連

- 串原 義啓¹⁾、齋藤 範之⁴⁾、手島 太郎⁵⁾、孫 長博⁶⁾、小林由香利^{2,3)}、長岡 孝治^{2,3)}、細井 亮宏^{2,3)}、唐崎 隆弘^{2,6)}、田中 將太¹⁾、齋藤 延人¹⁾、垣見 和宏^{2,3)}
- ¹⁾ 東京大学 脳神経外科、²⁾ 東京大学医学部附属病院 免疫細胞治療学講座、
³⁾ 理化学研究所医科学イノベーション推進プログラム がん免疫データ多層統合ユニット、
⁴⁾ 東京大学大学院医学系研究科 消化管外科、⁵⁾ 東京大学医学部附属病院 泌尿器科・男性科、
⁶⁾ 東京大学医学部附属病院 呼吸器外科

Y4-2 食道癌における腫瘍浸潤リンパ球と術前化学療法の治療効果との関連性の検討

- 山本 慧^{1,2)}、西塔 拓郎^{1,2)}、野瀬 陽平^{1,2)}、春名 美弥^{1,3)}、樋口 直子^{1,3)}、後藤久美子^{1,3)}、平田 道也^{1,3)}、河嶋 厚成¹⁾、岩堀 幸太¹⁾、和田 尚^{1,2)}
- ¹⁾ 大阪大学大学院医学系研究科 臨床腫瘍免疫学講座、²⁾ 大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科、
³⁾ 塩野義製薬株式会社

■ 一般演題 若手研究奨励賞 5 腫瘍微小環境とその制御

Y5-1 Exploring the mechanism of cancer-associated fibroblasts induced immunosuppression via IL-6 in tumor microenvironment

- NISHIWAKI Noriyuki¹⁾、NOMA Kazuhiro¹⁾、OHARA Toshiaki^{1,2)}、AKAI Masaaki¹⁾、KOBAYASHI Teruki¹⁾、NARUSAKA Toru¹⁾、KATO Takuya¹⁾、MAEDA Naoaki¹⁾、KIKUCHI Satoru¹⁾、TANABE Shunsuke¹⁾、TAZAWA Hiroshi¹⁾、SHIRAKAWA Yasuhiro¹⁾、FUJIWARA Toshiyoshi¹⁾
- ¹⁾ Okayama University Graduate School of Medicine Dentistry and Pharmaceutical Sciences Department of Gastroenterological Surgery、²⁾ Okayama University Graduate School of Medicine Dentistry and Pharmaceutical Sciences Department of Pathology & Experimental Medicine

Y5-2 RNAシーケンス、フローサイトメトリー、免疫染色を用いた胃癌の腫瘍内免疫応答の解析

- 齋藤 範之^{1,2)}、串原 義啓^{2,3)}、手島 太郎^{2,4)}、孫 長博^{2,5)}、細井 亮宏²⁾、長岡 孝治²⁾、小林由香利²⁾、佐藤 靖祥^{1,6)}、唐崎 隆弘^{2,5)}、阿部 浩幸⁷⁾、牛久 哲男⁷⁾、八木 浩一¹⁾、山下 裕玄¹⁾、瀬戸 泰之¹⁾、垣見 和宏^{2,8)}
- ¹⁾ 東京大学大学院医学系研究科 消化管外科、²⁾ 東京大学医学部附属病院 免疫細胞治療学講座、
³⁾ 東京大学医学部附属病院 脳神経外科、⁴⁾ 東京大学医学部附属病院 泌尿器科・男性科、
⁵⁾ 東京大学医学部附属病院 呼吸器外科、⁶⁾ がん研究会有明病院 総合腫瘍科、
⁷⁾ 東京大学大学院医学系研究科 人体病理学・病理診断学、
⁸⁾ 理化学研究所医科学イノベーション推進プログラムがん免疫データ多層統合ユニット

Y5-3 肉腫における腫瘍内免疫微小環境の解析

- 小林由香利^{1,2)}、佐藤 靖祥³⁾、船内 雄生⁴⁾、細井 亮宏^{1,2)}、唐崎 隆弘^{1,2)}、高橋 俊二³⁾、阿江 啓介⁴⁾、垣見 和宏^{1,2)}
- ¹⁾ 東京大学医学部附属病院 免疫細胞治療学講座、
²⁾ 理化学研究所 医科学イノベーション推進プログラム がん免疫データ多層統合ユニット、
³⁾ がん研究会有明病院 総合腫瘍科、⁴⁾ がん研究会有明病院 整形外科

Y5-4 **がん細胞内のシグナルと細胞外小胞による腫瘍微小環境の制御**

諸石 寿朗

熊本大学大学院生命科学研究部 シグナル・代謝医学講座

Y5-5 **抗腫瘍免疫の正常化を目的とした脾臓の炎症環境の改善：RISSET療法の提唱**

○土井 瑞貴、大東 昂良、田中 浩揮、三浦 尚也、櫻井 遊、秋田 英万

千葉大学大学院薬学研究院

Y5-6 **Triple-Negative Breast Cancer における Interleukin-34 の治療標的としての可能性**

○梶原ナビール、北川 郁人、小林 拓人、大塚 亮、清野研一郎

北海道大学医学院 免疫生物分野

Y5-7 **メトホルミンによる糖代謝バランスの改善と腫瘍微小環境の変化に関する組織学的解析**

○工藤 生、西田充香子、鵜殿平一郎

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 免疫学分野

Y5-8 **胸腺上皮性腫瘍における CD4, CD8 single positive T細胞の解析**

○山本 陽子¹⁾、岩堀 幸太²⁾、舟木壮一郎¹⁾、福井絵里子¹⁾、狩野 孝¹⁾、大瀬 尚子¹⁾、
南 正人¹⁾、新谷 康¹⁾、和田 尚²⁾

¹⁾ 大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器外科学、²⁾ 大阪大学大学院医学系研究科 臨床腫瘍免疫学

Y5-9 **尿素回路・オルニチン代謝関連酵素であるアルギナーゼ1遺伝子の発現は大腸がんの転移巣形成と関連する**

○王 向東¹⁾、項 慧慧¹⁾、豊島雄二郎²⁾、杉山 昂²⁾、志智 俊介²⁾、沈 輝棟¹⁾、
本間 重紀²⁾、武富 紹信²⁾、北村 秀光¹⁾

¹⁾ 北海道大学遺伝子病制御研究所免疫機能分野、²⁾ 北海道大学大学院医学研究院 消化器外科学教室I

Y5-10 **腫瘍由来 Interleukin-34 を標的とした新規がん治療法の確立**

○羽馬 直希¹⁾、小林 拓斗¹⁾、韓 ナヌミ¹⁾、北川 郁人¹⁾、梶原ナビール¹⁾、大塚 亮¹⁾、
和田はるか¹⁾、Hee-kyung Lee²⁾、Hwanseok Rhee²⁾、長谷川嘉則³⁾、八木田秀雄⁴⁾、
Muhammad Baghdadi¹⁾、清野研一郎¹⁾

¹⁾ 北海道大学遺伝子病制御研究所 免疫生物分野

²⁾ DNA Link, Inc., Biomedical Science Building 117, Seoul National University College of Medicine、

³⁾ 公益財団法人かずさDNA研究所 ゲノム事業推進部 臨床オミックス解析グループ

⁴⁾ 順天堂大学医学部 免疫学講座

Y5-11 **IFN- α / β による NK2R の発現誘導を介した大腸がんの悪性化**

○項 慧慧¹⁾、豊島雄二郎²⁾、岡田 尚樹²⁾、木井 修平²⁾、杉山 昂²⁾、長門 利純³⁾、
小林 博也³⁾、池尾 一穂⁴⁾、橋本 真一⁵⁾、谷野美智枝⁶⁾、武富 紹信²⁾、北村 秀光¹⁾

¹⁾ 北海道大学遺伝子病制御研究所免疫機能学分野、²⁾ 北海道大学大学院医学研究院消化器外科学教室I、

³⁾ 旭川医科大学医学部病理学講座免疫病理分野、⁴⁾ 国立遺伝学研究所遺伝情報分析研究室、

⁵⁾ 和歌山県立医科大学医学部先端医学研究所分子病態解析研究部、⁶⁾ 旭川医科大学病院病理部病理診断科

Y5-12 IL-34が大腸がん患者の予後に与える影響の解析

○小林 拓斗¹⁾、バグダーディムハンマド¹⁾、韓 ナヌミ¹⁾、村田 智己¹⁾、大塚 亮¹⁾、
和田はるか¹⁾、宮城 洋平²⁾、醍醐弥太郎^{3,4,5)}、清野研一郎¹⁾

¹⁾ 北海道大学遺伝子病制御研究所、²⁾ 神奈川県立がんセンター臨床研究所 がん分子病態学部、
³⁾ 滋賀医科大学医学部附属病院 腫瘍内科、⁴⁾ 滋賀医科大学医学部附属病院 腫瘍センター、
⁵⁾ 神奈川県立がんセンター臨床研究所 がん免疫療法研究開発学部

■ 一般演題 若手研究奨励賞 6 ゲノムと免疫

Y6-1 Exploiting the HER3-PI3K/mTOR-Immune Axis to Design Precision Immune Oncology Therapy for Head and Neck Cancer

○Robert Saddawi-Konefka¹⁾、GOTO Yusuke¹⁾、Mara Gilardi¹⁾、Michael Allevato^{1,2)}、
Diego Alvarado³⁾、Alfredo Molinolo¹⁾、Qianming Chen⁵⁾、Umameheswar Duvvuri⁶⁾、
Joseph Califano¹⁾、Jennifer Grandis⁷⁾、Silvio Gutkind^{1,2)}

¹⁾ Moores Cancer Center, University of California San Diego, La Jolla, CA, USA、
²⁾ Department of Pharmacology, University of California San Diego, La Jolla, CA, USA、
³⁾ Celldex Therapeutics, Hampton, NJ, USA、
⁴⁾ National Institute of Dental and Craniofacial Research, National Institutes of Health, Bethesda, MD, USA、
⁵⁾ State Key Laboratory of Oral Diseases, National Clinical Research Center for Oral Diseases, West China Hospital of Stomatology, Sichuan University, Chengdu, China、
⁶⁾ Department of Otolaryngology, University of Pittsburgh School of Medicine, Pittsburgh, PA, USA、
⁷⁾ Department of Otolaryngology Head and Neck Surgery, University of California San Francisco, San Francisco, CA, USA

■ 一般演題 若手研究奨励賞 7 がん免疫療法 1 (抗体・ワクチン療法)

Y7-1 マウス神経腫モデルにおけるWT1ワクチン療法と抗PD-1抗体療法の併用による抗腫瘍効果の増強

○林原 弘武¹⁾、横田 千里²⁾、高野 浩司²⁾、中田 潤³⁾、皆川 光⁴⁾、中島 博子⁵⁾、
橋井 佳子⁶⁾、尾路 祐介¹⁾、坪井 昭博⁶⁾、岡 芳弘⁷⁾、杉山 治夫⁵⁾

¹⁾ 大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻機能診断科学、²⁾ 大阪大学医学系研究科 脳神経外科学、
³⁾ 大阪大学医学系研究科 保健学専攻生体情報科学、⁴⁾ 大阪大学医学系研究科 小児科学、
⁵⁾ 大阪大学医学系研究科 癌免疫学共同研究講座、⁶⁾ 大阪大学医学系研究科 癌ワクチン療法学寄附講座、
⁷⁾ 大阪大学医学系研究科 癌幹細胞制御学寄附講座

Y7-2 ビタミンE足場型pH応答性新規材料を基盤とするmRNAがんワクチンの開発

○大山遼太郎¹⁾、舘下 菜穂¹⁾、アニンディタ ジェシカ¹⁾、田中 浩揮¹⁾、三浦 尚也¹⁾、
櫻井 遊¹⁾、石亀 晴道²⁾、岡田 隆陽²⁾、丹下 耕太³⁾、中井 裕太³⁾、吉岡 宏樹³⁾、
秋田 英万¹⁾

¹⁾ 千葉大学大学院薬学研究院、²⁾ 理化学研究所生命医科学研究センター、³⁾ 日油株式会社DDS研究所

Y7-3 Neoantigen-based immunotherapy plus CD38 blockade suppress cold lung cancer of the murine model

○SUN Changbo^{1,2)}、NAGAYAMA Kazuhiro²⁾、NAGAOKA Koji^{2,3)}、HOSOI Akihiro^{2,3)}、
NAKAJIMA Jun²⁾、KAKIMI Kazuhiro^{2,3)}

¹⁾ Department of Immunotherapeutics, University of Tokyo Hospital、
²⁾ Department of Thoracic Surgery, University of Tokyo Hospital、
³⁾ Cancer Immunology Data Multi-level Integration Unit, Medical Science Innovation Hub Program, RIKEN

Y7-4 Tumor response to a novel neoadjuvant peptide vaccine therapy targeting resectable HCC patients: Mass cytometry analysis

○NAKAGAMI Yuki^{1,2)}、HAZAMA Shoichi^{1,2)}、TAMADA Koji³⁾、UDAKA Keiko⁴⁾、DOI Shun⁵⁾、SAKAMOTO Michiie⁶⁾、SAITO Akira⁷⁾、AKINAGA Shiro⁸⁾、ADACHI Keishi³⁾、MATSUI Hiroto²⁾、SHINDO Yoshitaro²⁾、MATSUKUMA Satoshi²⁾、TOKUMITSU Yukio²⁾、TOMOCHIKA Shinobu²⁾、IIDA Michihisa²⁾、YOSHIDA Shin²⁾、TSUNEDOMI Ryouichi²⁾、SUZUKI Nobuaki²⁾、TAKEDA Shigeru²⁾、NAGANO Hiroaki²⁾

¹⁾ Department of Translational Research and Developmental Therapeutics against Cancer, Yamaguchi University School of Medicine,

²⁾ Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine,

³⁾ Department of Immunology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine,

⁴⁾ Department of Immunology, Kochi Medical School, ⁵⁾ CYTLIMIC Inc.,

⁶⁾ Department of Pathology, Keio University School of Medicine,

⁷⁾ Department of AI Applied Quantitative Clinical Science, Tokyo Medical University, ⁸⁾ AccuRna Inc.

Y7-5 NKリンパ腫に対する新規治療抗体の樹立

○武内 詩織¹⁾、水谷奈津子^{2,3)}、伊藤 恭彦²⁾、松岡 周二²⁾

¹⁾ 順天堂大学医学部産婦人科、²⁾ 順天堂大学医学部 免疫診断学講座、³⁾ 杏林大学臨床検査技術学科

Y7-6 肝細胞がんや肝芽腫に対する術後補助療法としてGPC3ペプチドワクチンはペプチド特異的CTLを誘導し、長期予後の延長に有望である

○谷口 理丈^{1,2,3)}、水野 正一¹⁾、吉川 聡明¹⁾、藤浪 紀洋¹⁾、中面 哲也^{1,3)}

¹⁾ 国立がん研究センター先端医療開発センター 免疫療法開発分野、²⁾ 国立がん研究センター東病院 肝胆膵外科、

³⁾ 熊本大学大学院医学教育 腫瘍治療・トランスレーショナルリサーチ学分野

■ 一般演題 若手研究奨励賞 8 がん免疫療法 2 (細胞療法、遺伝子治療)

Y8-1 IPS細胞由来プロフェッショナル抗原提示細胞を用いたがん免疫療法の開発

○真島 宏聡^{1,2)}、張 エイ¹⁾、小林 剛²⁾、萩谷祐一郎³⁾、岩間 達章¹⁾、山本 将輝^{1,2)}、イデイリス アリムジャン³⁾、大段 秀樹²⁾、中面 哲也¹⁾、植村 靖史¹⁾

¹⁾ 国立がん研究センター先端医療開発センター 免疫療法開発分野、

²⁾ 広島大学大学院医歯薬保健学研究科 消化器・移植外科学、

³⁾ AGC 株式会社 材料融合研究所 バイサイエンス部バイオチーム

Y8-2 抗CEA-GITR-CARの構造最適化による Tonic Signal抑制と抗原特異的反応性向上

○天石 泰典¹⁾、大久保 優¹⁾、Yizheng Wang²⁾、王 立楠³⁾、加藤 琢磨⁴⁾、岡本 幸子¹⁾、榎 竜嗣¹⁾、珠玖 洋^{2,3)}、峰野 純一¹⁾

¹⁾ タカラバイオ株式会社、²⁾ 三重大学大学院医学系研究科 遺伝子・免疫細胞治療学講座、

³⁾ 三重大学大学院医学系研究科 複合的がん免疫療法センター、⁴⁾ 三重大学大学院医学系研究科 免疫学講座

Y8-3 がん治療用HSV-1による全身的な抗腫瘍免疫反応の誘導

○石野 亮¹⁾、川瀬 有美²⁾、内田 俊平¹⁾、北脇 年雄²⁾、杉本 直志³⁾、藤堂 具紀⁴⁾、高折 晃史²⁾、門脇 則光¹⁾

¹⁾ 香川大学医学部 血液・免疫・呼吸器内科学、²⁾ 京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学、

³⁾ 京都大学 iPS細胞研究所、⁴⁾ 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 先端がん治療分野

Y8-4 CCL19発現異種間葉系幹細胞の抗腫瘍効果の検討

- 飯田 雄一、小谷 仁司、原田 守
島根大学医学部免疫学

Y8-5 GITRシグナル伝達ドメインを有するCEA特異的キメラ抗原受容体発現T細胞を用いたヒト膵癌同所移植マウスモデルの抗腫瘍効果の検討

- 武内 優太¹⁾、土川 貴裕¹⁾、天石 泰典²⁾、岡本 幸子²⁾、峰野 純一²⁾、畑中 豊³⁾、
王 立楠⁴⁾、加藤 琢磨⁵⁾、珠玖 洋^{4,6)}、平野 聡¹⁾
¹⁾ 北海道大学大学院医学院・医学研究院 消化器外科学教室II、²⁾ タカラバイオ株式会社、
³⁾ 北海道大学病院 ゲノム・コンパニオン診断研究部門、⁴⁾ 三重大学大学院医学系研究科 複合的がん免疫療法センター、
⁵⁾ 三重大学大学院医学系研究科 免疫学講座、⁶⁾ 三重大学大学院医学系研究科 遺伝子・免疫細胞治療学講座

Y8-6 piggyBac遺伝子改変CAR-T細胞の安全性評価のための霊長類モデルの開発

- 師川 紘一¹⁾、田中 美幸¹⁾、柳生 茂希²⁾、望月 秀美³⁾、下井 昭仁³⁾、齋藤 章治¹⁾、
中沢 洋三¹⁾
¹⁾ 信州大学医学部 小児医学教室、²⁾ 京都府立医科大学 小児科学教室、³⁾ イナリサーチ

Y8-7 悪性黒色腫に対するiPS細胞由来OX40L導入マクロファージ療法の開発

- 木村 俊寛¹⁾、福島 聡¹⁾、岡田 悦子¹⁾、栗山 春香¹⁾、金丸 央¹⁾、久保 陽介¹⁾、
中原 智史¹⁾、宮下 梓¹⁾、塚本 博丈²⁾、西村 泰治³⁾、猪爪 隆史⁴⁾、RongZhang⁵⁾、
植村 靖史⁵⁾、千住 覚³⁾、尹 浩信¹⁾
¹⁾ 熊本大学大学院生命科学研究部 皮膚病態治療再建学分野、²⁾ 熊本大学大学院生命科学研究部 免疫学講座、
³⁾ 熊本大学大学院生命科学研究部 免疫識別学講座、⁴⁾ 山梨大学 皮膚科、
⁵⁾ 国立研究開発法人 国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫療法開発分野

■ 一般演題 若手研究奨励賞 9 免疫チェックポイント阻害剤

Y9-1 分子イメージングによるPD-1—PD-L2を介するT細胞抑制機構の解明

- 竹原 朋宏^{1,2)}、若松 英²⁾、町山 裕亮²⁾、副島 研造¹⁾、福永 興壱¹⁾、横須賀 忠²⁾
¹⁾ 慶應義塾大学呼吸器内科、²⁾ 東京医科大学免疫学

Y9-2 マウス扁平上皮癌に対するレンバチニブと免疫チェックポイント阻害薬の併用治療は腫瘍増殖抑制効果を示す

- 矢島 優己^{1,2)}、大栗 敬幸¹⁾、小坂 朱¹⁾、原渕 翔平^{1,3)}、永田真莉乃¹⁾、林 隆介^{1,3)}、
長門 利純¹⁾、熊井 琢美³⁾、及川 賢輔¹⁾、竹川 政範²⁾、小林 博也¹⁾
¹⁾ 旭川医科大学 病理学講座 免疫病理分野、²⁾ 旭川医科大学 歯科口腔外科学講座、
³⁾ 旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座

Y9-3 PD-L1 on mast cells suppresses effector CD8⁺ T-cell activation in the skin in murine contact hypersensitivity model

○HIRANO Tomoko^{1,2)}、HONDA Tetsuya¹⁾、TAMADA Koji³⁾、KABASHIMA Kenji¹⁾

¹⁾ Kyoto University Graduate School of Medicine, Department of Dermatology、

²⁾ Kyoto University Graduate School of Medicine, Department of Immunology and Genomic Medicine、

³⁾ Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Department of Immunology

Y9-4 進行直腸癌に対する術前治療への免疫チェックポイント阻害剤の併用の可能性についての検討

○今泉 健¹⁾、鈴木 利宙²⁾、小嶋 基寛³⁾、下村真奈美²⁾、武富 紹信¹⁾、伊藤 雅昭⁴⁾、中面 哲也²⁾

¹⁾ 北海道大学大学院医学研究院消化器外科学教室I、²⁾ 国立がん研究センター先端医療開発センター免疫治療開発分野、

³⁾ 国立がん研究センター東病院臨床病理部、⁴⁾ 国立がん研究センター東病院大腸外科

■ 一般演題 若手研究奨励賞10 バイオマーカーと免疫モニタリング

Y10-1 T cell-intrinsic DNA damage and repair response as a novel marker associated with clinical response to PD-1 blockade

○MUROYAMA Yuki^{1,2)}、Alexandar C. Huang^{1,2,6,8)}、Sasikanth K. Manne^{1,2)}、Divij Mathew^{1,2)}、Lakshmi Chilukuri^{1,2,3)}、Caiyue Xu⁷⁾、Ramin. S Herati^{4,5)}、Claire F. Friedman³⁾、Dmitriy Zamarin³⁾、E. John Wherry^{1,2,8)}

¹⁾ Institute for Immunology, University of Pennsylvania, Perelman School of Medicine, Philadelphia, PA, USA、

²⁾ Department of Systems Pharmacology and Translational Therapeutics, University of Pennsylvania, Perelman School of Medicine, Philadelphia, PA, USA、

³⁾ Department of Medicine, Memorial Sloan Kettering Cancer Center, New York, NY, USA、

⁴⁾ Department of Medicine, New York University Grossman School of Medicine, New York, NY, USA、

⁵⁾ Department of Microbiology, New York University Grossman School of Medicine, New York, NY, USA、

⁶⁾ Department of Medicine, University of Pennsylvania, Perelman School of Medicine, Philadelphia, PA、

⁷⁾ Department of Cell and Developmental Biology, University of Pennsylvania, Perelman School of Medicine, Philadelphia, PA, USA、

⁸⁾ Parker Institute for Cancer Immunotherapy at University of Pennsylvania, Philadelphia, PA, USA

Y10-2 末梢血-腫瘍間で重複するTCRレパトアは、消化器癌患者に対するPD-1阻害療法の有効性を予測しうる

○青木 寛泰¹⁾、上羽 悟史¹⁾、中村 能章^{2,3)}、七野 成之¹⁾、中島 裕理^{3,4)}、下村真菜美⁴⁾、中面 哲也⁴⁾、吉野 孝之³⁾、松島 綱治¹⁾

¹⁾ 東京理科大学生命医科学研究所 炎症・免疫難病制御部門、

²⁾ 国立がん研究センター東病院 トランスレーショナルリサーチ支援室、

³⁾ 国立がん研究センター東病院 消化管内科、⁴⁾ 国立がん研究センター先端医療開発センター 免疫療法開発分野

Y10-3 新規β-Galactosidase蛍光基質を用いた細胞表面抗原の高感度検出法の開発

○下村 隆¹⁾、野口 克也¹⁾、平川 哲央¹⁾、大内 雄也¹⁾、石山 宗孝¹⁾、森 健²⁾、片山 佳樹²⁾

¹⁾ 株式会社同仁化学研究所、²⁾ 九州大学工学研究院

■ 一般演題 若手研究奨励賞11 症例報告・臨床試験・その他

Y11-1 肝硬変に肝細胞癌が合併した難治性胸水に対して胸腔-静脈シャント術を施行した一例

○末松 秀明¹⁾、村上 仁志¹⁾、利野 靖²⁾、益田 宗孝²⁾

¹⁾ 上白根病院、²⁾ 横浜市立大学 外科治療学教室

■ 一般演題 1 自然免疫・樹状細胞

01-1 GAIA-102: 固形腫瘍に対する新規革新的細胞製剤

○原田 結、和田 健一、米満 吉和

九州大学

■ 一般演題 2 抗腫瘍エフェクター細胞

02-1 グルココルチコイド誘導腫瘍壊死因子受容体リガンド (GITRL) 付加によるCD19 CAR-T細胞療法有効性向上の試み

○三輪 啓志¹⁾、藤原 弘¹⁾、赤堀 泰¹⁾、王 立楠¹⁾、奥村 悟司¹⁾、田中 義正²⁾、
加藤 琢磨¹⁾、宮原 慶裕¹⁾、珠玖 洋¹⁾

¹⁾ 三重大学 個別化がん免疫治療学、²⁾ 長崎大学 先端創薬イノベーションセンター

02-2 Jurkat細胞を用いたTCRのネオアンチゲン反応性解析

○浜名 洋¹⁾、宮原 慶裕²⁾、下岡 清美¹⁾、祐川 健太³⁾、小林 栄治¹⁾、小澤 龍彦¹⁾、
村口 篤¹⁾、藤井 努³⁾、珠玖 洋²⁾、岸 裕幸¹⁾

¹⁾ 富山大学学術研究部医学系 免疫学、²⁾ 三重大学大学院医学系研究科 個別化がん免疫治療学講座、

³⁾ 富山大学学術研究部医学系 消化器・腫瘍・総合外科

02-3 ヒトcarbonic anhydrase 9 発現マウス腎がん細胞に対する抗がんT細胞応答と複合免疫療法

○原田 守、飯田 雄一、小谷 仁司

島根大学医学部 免疫学

02-4 新規GD2特異的CAR遺伝子導入アロ γ/δ -T細胞の開発

○藤原 弘¹⁾、赤堀 泰¹⁾、三輪 啓志¹⁾、王 立楠¹⁾、日向 千咲¹⁾、大海 雄介³⁾、
宮原 慶裕¹⁾、田中 義正²⁾、古川 圭子³⁾、古川 鋼一³⁾、珠玖 洋¹⁾

¹⁾ 三重大学大学院医学系研究科 個別化がん免疫治療学、²⁾ 長崎大学先端創薬イノベーションセンター、

³⁾ 中部大学生命健康科学部

02-5 リンパ節中の腫瘍反応性T細胞の同定と機能解析

○清谷 一馬¹⁾、岡村 和美¹⁾、建 智博¹⁾、長山 聡²⁾、中村 祐輔¹⁾

¹⁾ 公益財団法人がん研究会 がんプレジジョン医療研究センター 免疫ゲノム解析グループ、

²⁾ 公益財団法人がん研究会 有明病院 大腸外科

02-6 Adjuvant effect of NK cells on the anti-tumor activity of NKT cells

○TAKAMI Mariko, ISHII Ayana, MOTOHASHI Shinichiro

Department of Medical Immunology, Graduate School of Medicine, Chiba University

02-7 不適合HLA-DP抗原を標的とする同種造血細胞移植後の養子免疫療法の開発

○赤塚 美樹¹⁾、楫屋 良子¹⁾、西尾 信博²⁾、一戸 辰夫³⁾、岡村 文子⁴⁾、西川 博嘉¹⁾

¹⁾ 名古屋大学大学院医学系研究科 分子細胞免疫学分野、²⁾ 名古屋大学医学部付属病院 先端医療開発部、

³⁾ 広島大学原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野、

⁴⁾ 愛知県がんセンター研究所 腫瘍免疫制御トランスレーショナルリサーチ分野

■ 一般演題 3 腫瘍抗原と抗原提示機構

03-1 NGSベースのin silico予測および、MHCリガンドーム解析による抗腫瘍効果を認めるネオアンチゲンの同定

○長岡 孝治¹⁾、金関 貴幸²⁾、時田 芹奈²⁾、前嶋 和紘³⁾、藤田 征志³⁾、小松 利広⁴⁾、孫 長博¹⁾、細井 亮宏¹⁾、宇高 恵子⁴⁾、中川 英刀³⁾、鳥越 俊彦²⁾、垣見 和宏^{1,5)}

¹⁾ 東京大学医学部附属病院 免疫細胞治療学講座、²⁾ 札幌医科大学医学部 病理学第一講座、

³⁾ 理化学研究所 生命医科学研究センターがんゲノム研究チーム、⁴⁾ 高知大学医学部免疫学、

⁵⁾ 理化学研究所 医科学イノベーションハブ推進プログラム

03-2 がん組織のペプチドミクス解析によるHLA class I結合ネオアンチゲン同定法の開発

○長谷川香子^{1,2,3)}、紅露 拓¹⁾、中村 有子²⁾、上田 宏生⁴⁾、五十嵐友香¹⁾、東島 直子¹⁾、近岡 洋子²⁾、辰野 健二⁵⁾、中村 徳弘³⁾、川村 猛²⁾、油谷 浩幸⁵⁾、笹田 哲朗¹⁾

¹⁾ 神奈川県立がんセンター臨床研究所 がん免疫療法研究開発学部、

²⁾ 東京大学アイソトープ総合センター プロテオミクス研究室、³⁾ プライトパス・バイオ株式会社 創薬研究部、

⁴⁾ 東京大学先端科学技術センター 生命データサイエンス分野、

⁵⁾ 東京大学先端科学技術センター ゲノムサイエンス分野

03-3 マウスメラノーマ細胞株B16F10のネオアンチゲンの同定及びTcRレパトア解

○和氣加容子、山田 亮

久留米大学先端癌治療研究センター

03-4 ネオアンチゲン予測パイプライン構築と肉腫におけるsharedネオアンチゲン探索

○海江田修至¹⁾、吉良 聡¹⁾、小林由香利²⁾、北川 正成¹⁾、佐藤 靖祥³⁾、船内 雄生⁴⁾、細井 亮宏²⁾、高橋 俊二³⁾、阿江 啓介⁴⁾、垣見 和宏^{2,5)}、峰野 純一¹⁾

¹⁾ タカラバイオ株式会社、²⁾ 東京大学医学部附属病院 免疫細胞治療学講座、³⁾ がん研究会有明病院 総合腫瘍科、

⁴⁾ がん研究会有明病院 整形外科、⁵⁾ 理化学研究所 医科学イノベーションハブ

03-5 Long non-coding RNA由来がん抗原に対するCTL免疫監視

○菊池 泰弘¹⁾、金関 貴幸¹⁾、時田 芹奈^{1,2)}、平間 知美^{1,2)}、秦 史壯²⁾、鳥越 俊彦¹⁾

¹⁾ 札幌医科大学医学部 病理学第一講座、²⁾ 札幌道都病院

03-6 プロテオゲノミクスHLAリガンドーム解析による大腸がんHLAクラスII提示ネオアンチゲンの同定

- 松本 哲^{1,2)}、金関 貴幸¹⁾、時田 芹奈³⁾、工藤 恵美¹⁾、鳥越 俊彦¹⁾
¹⁾ 札幌医科大学医学部 病理学第一講座、²⁾ イムス札幌消化器中央総合病院外科、³⁾ 札幌道都病院

03-7 膀胱癌幹細胞特異的な癌抗原の検討

- 宮田 遥、廣橋 良彦、柳川 純子、村井 愛子、時田 芹奈、金関 貴幸、鳥越 俊彦
 札幌医科大学医学部 病理学第一講座

■ 一般演題 4 免疫逃避機構・治療抵抗性

04-1 上咽頭癌におけるCD70およびCD27の発現解析

- 長門 利純¹⁾、林 隆介^{1,2)}、原 翔平^{1,2)}、永田真莉乃¹⁾、矢島 優己^{1,3)}、小坂 朱¹⁾、大栗 敬幸¹⁾、野崎 結²⁾、大原 賢三²⁾、熊井 琢美^{2,4)}、岸部 幹²⁾、高原 幹²⁾、及川 賢輔¹⁾、原 保明²⁾、小林 博也¹⁾
¹⁾ 旭川医科大学 病理学講座免疫病理分野、²⁾ 旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座、³⁾ 旭川医科大学 歯科口腔外科学講座、⁴⁾ 旭川医科大学 頭頸部癌先端の診断・治療学講座

04-2 マクロファージは、老齢個体におけるがん免疫療法の低応答性に寄与している

- 塚本 博丈、木村 俊貴、押海 裕之
 熊本大学大学院生命科学研究部 免疫学講座

■ 一般演題 5 腫瘍微小環境とその制御

05-1 前立腺がん幹細胞の治療抵抗性に関わる因子の検討

- 若宮 崇人¹⁾、廣橋 良彦²⁾、鳥越 俊彦²⁾、原 勲¹⁾
¹⁾ 和歌山県立医科大学附属病院 泌尿器科、²⁾ 札幌医科大学医学部 病理学第一講座

05-2 新規樹立マウス膀胱癌モデルにおけるMDSC除去による抗腫瘍効果の検討

- 松本 敬優¹⁾、齊藤 亮一²⁾、嘉島 相輝¹⁾、小林 恭¹⁾、河本 宏³⁾、垣見 和宏⁴⁾、小川 修¹⁾
¹⁾ 京都大学大学院医学研究科 泌尿器科学教室、²⁾ 関西医科大学 腎泌尿器外科学講座、³⁾ 京都大学ウイルス・再生医科学研究所 再生免疫学分野、⁴⁾ 東京大学医学部附属病院 免疫細胞治療学講座

05-3 シングルセル遺伝子解析によるがん細胞の皮内および皮下投与の違いが腫瘍形成能に与える影響

- 岩淵 禎弘¹⁾、北村 秀光²⁾、橋本 真一^{1,3)}
¹⁾ 和歌山県立医科大学先端医学研究所 分子病態解析研究部、²⁾ 北海道大学遺伝子病制御研究所 免疫機能学分野、³⁾ CREST

05-4 ケモカイン/ケモカイン受容体を介した隣癌細胞と癌関連線維芽細胞間相互作用の解析

○東口 公哉^{1,2)}、秋田 裕史¹⁾、高濱 正吉²⁾、村上 弘大^{1,2)}、小林 省吾¹⁾、土岐祐一郎¹⁾、江口 英利¹⁾、山本 拓也^{2,3)}

¹⁾ 大阪大学 消化器外科、²⁾ 医薬基盤・健康・栄養研究所 免疫老化プロジェクト、

³⁾ 大阪大学大学院薬学研究科 免疫老化制御学分野

05-5 担がん生体における抗腫瘍免疫の賦活と大腸がん肝転移の抑制効果

○北村 秀光¹⁾、豊島雄二郎²⁾、項 慧慧^{1,2)}、大野 陽介²⁾、本間 重紀²⁾、川村 秀樹²⁾、高橋 典彦²⁾、神山 俊哉²⁾、谷野美智枝³⁾、武富 紹信²⁾

¹⁾ 北海道大学遺伝子病制御研究所 免疫機能学分野、²⁾ 北海道大学大学院医学研究院 消化器外科学教室I、

³⁾ 旭川医科大学病院 病理部 病理診断科

05-6 Physiological Responses of cancer cells to simulated microgravity

Alisa Sokolovskaya, Ekaterina Korneeva, Danila Zaichenko, Aleksey Moskovtsev, Aslan Kubatiev

Dept. of Mol. & Cell. Pathophysiol. Inst. Of General Pathophysiology

05-7 ROS 依存的なNrf2/mTORC1 経路の活性化はメトホルミンと抗PD-1 抗体の併用効果を誘導する

○西田充香子、山下奈穂子、鵜殿平一郎

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 免疫学

■ 一般演題 6 ゲノムと免疫

06-1 胃がんの腫瘍内免疫応答の統合的解析

○細井 亮宏¹⁾、佐藤 靖祥^{1,2,3)}、長岡 孝治¹⁾、小林由香利¹⁾、高橋 俊二³⁾、瀬戸 泰之²⁾、垣見 和宏^{1,4)}

¹⁾ 東京大学医学部附属病院 免疫細胞治療学講座、²⁾ 東京大学医学部附属病院 胃・食道外科、

³⁾ がん研有明病院 総合腫瘍科、⁴⁾ 理化学研究所 医科学イノベーションハブ

■ 一般演題 7 がん免疫療法 1 (抗体・ワクチン療法)

07-1 リン酸化ビメンチンを標的抗原とした転移性大腸癌に対する免疫療法

○大原 賢三^{1,2)}、熊井 琢美²⁾、長門 利純¹⁾、林 隆介^{1,2)}、矢島 優己¹⁾、大栗 敬幸¹⁾、小林 博也¹⁾

¹⁾ 旭川医科大学病理学講座 免疫病理分野、²⁾ 旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

07-2 ISAAC 法を用いたTCR様抗体の迅速作製とその応用

○小澤 龍彦、小林 栄治、浜名 洋、村口 篤、岸 裕幸

富山大・医・免疫

07-3 腫瘍内へのcGAMPと抗CD47抗体の同時投与は腫瘍内マクロファージの活性化を介して抗腫瘍免疫を増強する

- 大栗 敬幸¹⁾、小坂 朱¹⁾、石橋 佳^{1,2)}、長門 利純¹⁾、原渕 翔平^{1,3)}、永田真莉乃¹⁾、林 隆介^{1,3)}、矢島 優己^{1,4)}、及川 賢輔¹⁾、小林 博也¹⁾
¹⁾ 旭川医科大学 病理学講座 免疫病理分野、²⁾ 旭川医科大学病院 乳腺外科、
³⁾ 旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座、⁴⁾ 旭川医科大学 歯科口腔外科学講座

07-4 悪性中皮腫に対する新規抗体の樹立

- 水谷奈津子^{1,2)}、松岡 周二²⁾、武内 詩織^{2,3)}
¹⁾ 杏林大学保健学部、²⁾ 順天堂大学医学部免疫診断学、³⁾ 順天堂大学医学部産婦人科

07-5 奏効するがん細胞ワクチンの接種局所における微小環境動態の解析

和田はるか
 北海道大学遺伝子病制御研究所免疫生物分野

07-6 ケモカインを介した樹状細胞サブセットへのがん抗原送達による抗腫瘍効果

- 水本 有紀¹⁾、勝田 将裕¹⁾、宮澤 基樹¹⁾、北畑 裕司¹⁾、宮本 篤¹⁾、中森 幹人¹⁾、尾島 敏康¹⁾、松田 健司¹⁾、邊見 弘明^{2,3)}、玉田 耕治⁴⁾、改正 恒康²⁾、山上 裕機¹⁾
¹⁾ 和歌山県立医科大学 第2外科、²⁾ 和歌山県立医科大学 先端医学研究所 生体調節機構研究部、
³⁾ 岡山理科大学獣医学部 獣医免疫学講座、⁴⁾ 山口大学医学部大学院医学系研究科 免疫学

■ 一般演題 8 がん免疫療法 2 (細胞療法、遺伝子治療)

08-1 4-1BB CAR T cells targeting a novel malignant mesothelioma-specific antigen inhibit growth of mesothelioma cells.

- KOURO Taku¹⁾、HIGASHIJIMA Naoko¹⁾、TSUJI Shoutaro²⁾、IMAI Kohzoh³⁾、SASADA Tetsuro¹⁾
¹⁾ Division of Cancer Immunotherapy, Kanagawa Cancer Center Research Institute、
²⁾ Division of Cancer Therapy, Kanagawa Cancer Center Research Institute、
³⁾ Kanagawa Cancer Center Research Institute

08-2 NY-ESO-1/TCR-T細胞輸注後のサイトカイン放出症候群と輸注細胞の特性解析

- 影山 慎一¹⁾、宮原 慶裕¹⁾、石原 幹也¹⁾、北野 滋久^{2,3)}、山本 昇^{2,4)}、加藤 栄史⁴⁾、三嶋 秀行⁴⁾、服部 浩佳⁵⁾、船越 建⁶⁾、小島 隆嗣⁷⁾、笹田 哲朗⁸⁾、岡本 幸子⁹⁾、戸村 大助^{1,9)}、糠谷 育衛^{1,9)}、蝶野 英人⁹⁾、峰野 純一⁹⁾、池田 裕明¹⁰⁾、渡辺 隆¹⁾、珠玖 洋¹⁾
¹⁾ 三重大学大学院遺伝子・免疫細胞治療学/個別化がん免疫治療学、同附属病院がんセンター、
²⁾ 国立がん研究センター中央病院 先端医療科、³⁾ がん研究会有明病院 先端医療開発センター、
⁴⁾ 愛知医科大学輸血部・細胞治療センター/臨床腫瘍センター、⁵⁾ 名古屋医療センター 臨床研究センター、
⁶⁾ 慶応義塾大学 皮膚科、⁷⁾ 国立がん研究センター東病院 消化管内科、
⁸⁾ 神奈川県立がんセンター臨床研究所 がん免疫療法研究開発学部、⁹⁾ タカラバイオ(株)、¹⁰⁾ 長崎大学大学院 腫瘍医学

08-3 ゲノム編集とカセット交換法を用いたがん抗原特異的TCR遺伝子導入法の開発

- 寺田 晃士¹⁾、近藤 健太¹⁾、永野 誠治²⁾、前田 卓也²⁾、増田 喬子²⁾、河本 宏²⁾、縣 保年¹⁾
¹⁾ 滋賀医科大学医学部 分子生理化学、²⁾ 京都大学ウイルス・再生研 再生免疫

08-4 カニクイザルの腫瘍浸潤T細胞から腫瘍殺傷能を有するTCR遺伝子を単離する

- 近藤 健太¹⁾、寺田 晃士¹⁾、石垣 宏仁²⁾、里岡 大樹³⁾、永野 誠治⁴⁾、増田 喬子⁴⁾、平田多佳子³⁾、小笠原一誠²⁾、伊藤 靖²⁾、河本 宏⁴⁾、縣 保年¹⁾

¹⁾ 滋賀医・医・分子生理化学、²⁾ 滋賀医・医・疾患制御病態学、³⁾ 滋賀医・医・生物学、

⁴⁾ 京大・ウイルス・再生研・再生免疫

08-5 抗がん免疫作用を惹起するセンダイウイルスゲノム由来の合成ステム・ループRNA(stem-loop RNA)の開発

- 西川 智之^{1,2)}、山下 邦彦^{1,3)}、金田 安史²⁾

¹⁾ 大阪大学大学院医学系研究科 先進デバイス分子治療学、

²⁾ 大阪大学大学院医学系研究科 遺伝子治療学、³⁾ 株式会社ダイセル 研究開発本部 医療関連事業戦略室

■ 一般演題 9 免疫チェックポイント阻害剤

09-1 *KRAS* mutational status and efficacy in KEYNOTE-189: pembrolizumab plus chemotherapy for metastatic nonsquamous NSCLC

- HORINOUCI Hidehito¹⁾、Shirish M. Gadgeel²⁾、Delvys Rodriguez-Abreu³⁾、Enriqueta Felip⁴⁾、Emilio Esteban⁵⁾、Giovanna Speranza⁶⁾、Martin Reck⁷⁾、Rina Hui⁸⁾、Razvan Cristescu⁹⁾、Aurora-Garg Deepti⁹⁾、Lunceford Jared⁹⁾、Julie Kobie⁹⁾、Mark Ayers⁹⁾、Bilal Piperdi⁹⁾、Pietanza M. Catherine⁹⁾、Marina C. Garassino¹⁰⁾

¹⁾ National Cancer Center Hospital、²⁾ Karmanos Cancer Institute, Detroit, MI, USA、

³⁾ Complejo Hospitalario Universitario Insular Materno-Infantil de Gran Canaria, Universidad de Las Palmas de Gran Canaria, Las Palmas de Gran Canaria, Spain、

⁴⁾ Hospital Universitario Central de Asturias, Oviedo, Spain、

⁵⁾ Vall d' Hebron University, Vall d' Hebron Institute of Oncology (VHIO), Barcelona, Spain、

⁶⁾ Centre intégré de cancérologie de la Montérégie, Université de Sherbrooke, Greenfield Park, QC, Canada、

⁷⁾ LungenClinic, Airway Research Center North, German Center for Lung Research, Grosshansdorf, Germany、

⁸⁾ Westmead Hospital and University of Sydney, Sydney, NSW, Australia、⁹⁾ Merck & Co., Inc., Kenilworth, NJ, USA、

¹⁰⁾ Fondazione IRCCS Istituto Nazionale dei Tumori, Milan, Italy

09-2 Association of *KRAS* mutational status with response to pembrolizumab monotherapy for PD-L1-positive NSCLC in KEYNOTE-042

- KASAHARA Kazuo¹⁾、Roy S. Herbst²⁾、Gilberto Lopes³⁾、Dariusz M. Kowalski⁴⁾、Yi-Long Wu⁵⁾、Gilberto Castro⁶⁾、Byoung Chul Cho⁷⁾、Hande Z. Turna⁸⁾、Razvan Cristescu⁹⁾、Aurora-Garg Deepti⁹⁾、Lunceford Jared⁹⁾、Julie Kobie⁹⁾、Mark Ayers⁹⁾、Pietanza M. Catherine⁹⁾、Bilal Piperdi⁹⁾、Tony S. K. Mok¹⁰⁾

¹⁾ Kanazawa University Hospital、²⁾ Yale University School of Medicine, Yale Cancer Center, New Haven, CT, USA、

³⁾ Sylvester Comprehensive Cancer Center at the University of Miami, Miami, FL, USA、

⁴⁾ Maria Skłodowska-Curie Memorial Cancer Centre and Institute of Oncology, Warsaw, Poland、

⁵⁾ Guangdong Lung Cancer Institute, Guangdong, China、⁶⁾ Instituto do Cancer do Estado de Sao Paulo, Sao Paulo, Brazil、

⁷⁾ Yonsei Cancer Center, Seoul, South Korea、⁸⁾ Istanbul University Cerrahpasa Medical Faculty, Istanbul, Turkey、

⁹⁾ Merck & Co., Inc., Kenilworth, NJ, USA、

¹⁰⁾ State Key Laboratory of South China, Chinese University of Hong Kong, Shatin, Hong Kong Special Administrative Region, China

09-3 Identification of the HMG1 immunostimulatory motif as an adjuvant for PD-L1 blockade therapy

- CHANG-YU CHEN¹⁾、UEHA Satoshi¹⁾、YOKOCHI Shoji¹⁾、ISHIWATA Yoshiro¹⁾、OGIWARA Haru¹⁾、DESHIMARU Shungo¹⁾、SHIBAYAMA Shiro³⁾、MATSUSHIMA Kouji¹⁾

¹⁾ Division of Immunobiology, Research Institute for Biomedical Sciences, Tokyo University of Science,

²⁾ Graduate School of Medicine, The University of Tokyo,

³⁾ Research Center of Immunology, Tsukuba Institute, ONO Pharmaceutical Co., Ltd.

09-4 転移性腎細胞癌に対するニボルマブ長期使用例に関する検討

- 西山 直隆¹⁾、七谷 直紀¹⁾、大島 記世¹⁾、坪井 康真¹⁾、菊島 卓也¹⁾、安川 瞳¹⁾、池端 良紀¹⁾、飯田 裕朗¹⁾、伊藤 崇敏¹⁾、渡部 明彦¹⁾、藤内 靖喜¹⁾、江川 雅之²⁾、林 典宏³⁾、北村 寛¹⁾

¹⁾ 富山大学学術研究部医学系 腎泌尿器科学講座、²⁾ 砺波総合病院 泌尿器科、³⁾ 高岡市民病院 泌尿器科

09-5 進行胃癌に対する放射線療法と免疫チェックポイント阻害剤による集学的治療の可能性

- 坂元 直行、林 完成、中畑 由紀、向井理英子、尾松 達司、大洞 昭博、小島 孝雄、八木 信明

朝日大学病院 消化器内科

■ 一般演題10 バイオマーカーと免疫モニタリング

010-1 肺腺癌におけるPD-L1発現の意義とマクロファージの重要性

- 菰原 義弘¹⁾、新地 祐介^{1,2)}、池田 公英²⁾、鈴木 実²⁾

¹⁾ 熊本大学細胞病理学、²⁾ 熊本大学呼吸器外科

010-2 非小細胞肺癌における腫瘍浸潤リンパ球の多寡は、末梢血の活性化CD4 T細胞の割合と関連する

- 武藤 哲史、山口 光、峯 勇人、高木 玄教、尾崎 有紀、岡部 直行、松村 勇輝、塩 豊、鈴木 弘行

福島県立医科大学 呼吸器外科

010-3 非小細胞肺癌における免疫チェックポイント阻害剤治療前後での末梢血TCR/BCRレパトア解析の有用性

- 五十嵐友香¹⁾、中原 善朗²⁾、松尾 規和³⁾、東 公一³⁾、笹田 哲朗¹⁾

¹⁾ 神奈川県立がんセンター 臨床研究所、²⁾ 神奈川県立がんセンター 呼吸器内科、

³⁾ 久留米大学医学部 内科学講座 呼吸器・神経・膠原病内科部門

010-4 T細胞受容体レパトア解析を用いた免疫チェックポイント阻害剤早期奏効予測バイオマーカーの探索

- 加藤 大悟¹⁾、清谷 一馬²⁾、富山 栄輔¹⁾、洪 陽子¹⁾、松下 慎¹⁾、中野 剛佑¹⁾、林 裕次郎¹⁾、石津谷 祐¹⁾、王 聡¹⁾、波多野浩士¹⁾、河嶋 厚成¹⁾、氏家 剛¹⁾、植村 元秀¹⁾、野々村祝夫¹⁾

¹⁾ 大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学泌尿器科、²⁾ がん研究会 がんプレジジョン医療研究センター

010-5 演題取り下げ

010-6 血液1マイクロリットルから見出したタンパク質バイオマーカーによるがん免疫療法の反応予測

- Rucevic Marijiana、Arnav Mehta、Gyulnara Kasumova、Emmett Sprecher、Lina Hultin Rosenberg、Michelle S. Kim、Dennie T. Frederick、Ryan S. Sullivan、Genevieve Bland、Keith Flaherty、Nir Hacohen
Olink Proteomics, Watertown, MA

010-7 尿路上皮癌に対するペムプロリズマブの治療効果予測バイオマーカーとしてのPD-L1および腫瘍組織浸潤リンパ球 (TIL)

- 西原 大策、貫井 昭徳、木島 敏樹、釜井 隆男
獨協医科大学泌尿器科

■ 一般演題11 症例報告・臨床試験・その他

011-1 TCR like MAGE A4 CAR-T細胞療法の技術開発とGCTPにおける細胞調製の'Decentralization'

- 奥村 悟司¹⁾、宮原 慶裕¹⁾、王 立楠²⁾、白倉 和子²⁾、赤堀 泰¹⁾、長谷川雅一⁴⁾、多田 光輝⁴⁾、渡辺 隆²⁾、珠玖 洋^{1,2,3)}
¹⁾ 三重大学大学院医学系研究科 個別化がん免疫治療学、²⁾ 三重大学大学院医学系研究科 遺伝子免疫細胞治療学、³⁾ 三重大学 リサーチセンター 複合的がん免疫療法センター、⁴⁾ ダイダゲン株式会社 イノベーション本部 再生医療推進部

011-2 完全個別化がんペプチドワクチンの開発のためのネオアンチゲンの予測とその抗原性の評価

- 下村真菜美¹⁾、鈴木 利宙^{1,2)}、藤浪 紀洋¹⁾、平糠 和志³⁾、中島 裕理¹⁾、吉川 聡明¹⁾、佐々木諒子¹⁾、渡部 典子³⁾、山田 崇³⁾、松永 宏美³⁾、三嶋 雄二³⁾、中村 徳弘³⁾、中面 哲也¹⁾
¹⁾ 国立がん研究センター先端医療開発センター 免疫療法開発分野、²⁾ 帝京大学医学部医療技術学部 医療共通教育研究センター、³⁾ プライトパス・バイオ株式会社

011-3 局所進行非小細胞肺癌に対して複合免疫療法後に手術を施行し、病理学的完全奏功(pCR)であった2例の病理・免疫組織学的検討

- 松村 勇輝、峯 勇人、高木 玄教、渡部 晶之、尾崎 有紀、福原 光朗、武藤 哲史、岡部 直行、長谷川剛生、塩 豊、鈴木 弘行
福島県立医科大学呼吸器外科学講座